

初秋の夕べを皆さんと過ごす 英語教育ワークショップとリーダーズシアター

日時： 2017年9月2日（土曜日）、16時半開始（16時開場）

場所：会員制音楽倶楽部ローゼンシュトラウス（Rosenstrauss）

〒450-0003 名古屋市中村区名駅南4丁目10-18 松興ビル4F. tel:052-541-2110（笹島交差点より徒歩15分）

参加費 無料

講師：近江 誠（南山短期大学名誉教授、近江アカデミー主宰）

問合せ：近江（090-1782-1303）

内容：

英語教育ワークショップ。オーラルインタープリテーションとリーダーズシアターで英語力をアップする方法の一端を体験レッスン。朗読・リーダーズシアターの練習発表の一部を公開。参加者の有志の部分参加あり。

扱う素材は、広島悲歌「母の子守唄」（“Mother’s Lullaby” from New Horizon III）
／亡き友よ／ “Boots” by Kipling / Dorm Eulogy / 将棋・升田幸三名人一代の立ち回り／ゆきおんな / 姫川あゆみスピーチ（「ガラスの仮面」）／The Rum, Tum, Tugger!
／The Song of Jellicles by T.S. Eliot 等

御挨拶

新学期を控えて、皆様方におかれましてはご多忙なものと存じますが、そのような土曜日の午後のひと時を、上記行事へお誘い申し上げます。

英会話は何年やっても英会話です。骨太で息の長い表現力を育てていくためには、主教材はダイアログではなくモノログでなければなりません。モノログ素材を生きた語り(parole)として捉える。すなわちシャーロット・リーのいう、知的、情緒的、審美的一体として理解したように表現していくオーラル・インタープリテーション(interpretive reading、リーダーズシアターは朗読劇)をしていく過程で、英語表現を線として取り込むことができ、話し書く能力を磨かれていくと考えます。(もちろん受験突破能力につないでいきます。英語はひとつです。)

しかるに英語教育界は、口当たりのいい、さながら流行語大賞流にノミネートされるのを狙っているかのように脈絡なしに小学校の英語導入、英語での授業、プレゼンテーション、TOEIC, TOEFL, 英検、留学、ネイティブ、英会話、シャドウイングなど、決して**そうすることによって特記すべき英語力を自分で決して獲得したわけでもない”学者**“、あるいは言語教育についてはずぶの素人のマスコミ文化人、ビジネスマン、財界人の英語教育改革案で現場が翻弄されている状況です。＜門外漢の門外漢による門外漢の為の＞英語教育の跳梁です。

求められるは言語ラング観偏重から言語パロール観へのパラダイム転換です。ラング観とは、意味は素材の中に決定済みのものとして捉える言語観で素。これに対しパロール的言語観とは意味の大半は語り手が与えるものであるというものであり、それを発見するのがリーディングであると考えます。その意味では教科書の文であろうと入試の長文でも同じです。英語教育・学習においては常にそれらの長文のように話している自分をイメージして表現を磨いていることが大切です。ここにオーラルインタプリテーションなどの訓練があるのです。

ごく普通の環境で育った日本の英語学習者が地味な努力でそういう方向に育ってていつている要素を垣間見て行っていただきたいと思います。

近江誠プロフィール



南山短期大学名誉教授。出生、年齢不明。愛知県立時習館高校教諭を経て1967年フルブライト留学生として渡米。米インディアナ大学大学院でスピーチ・ドラマ学の学位を取得。1988年コロンビア大学客員研究員、日本コミュニケーション学会。南山大学・同短大、名古屋大学、京都外国語大学院博士課程で教鞭をとってきた。また各地の講習会、講演、ワークショップを多数。現在は近江アカデミーで言語パロール観に基づいた英語コミュニケーション教育訓練を行っている。

著書には『感動する英語!』『挑戦する英語!』（文藝春秋）『英語コミュニケーションの理論と実際—スピーチ学からの提言—』（研究社、大学英語教育学会実践賞）『オーラルインタープリテーション入門—英語の深い読みと表現の指導—』（大修館書店）『頭と心と体を使う英語の学び方』（研究社出版、アマゾンPOD）『間違いだらけの英語学習—常識38のウソトマコト』『歴史に残る大統領の就任演説』（共著）（以上小学館）『あることば訓練の舞台裏』（朝日出版社近刊）文科省英語教科書、その他多数。

英語教育ワークショップとリーダーズシアター

日時： 2017年9月2日（土曜日）、16時半開始（16時開場）

場所：会員制音楽倶楽部ローゼンシュトラウス（Rosenstrauss）

〒450-0003 名古屋市中村区名駅南4丁目10-18 松興ビル4F. tel:052-541-2110（笹島交差点より徒歩15分）

参加費 無料

日時： 2017年9月2日（土曜日）、16時半開始（16時開場）

■ WHAT IS ORAL INTERPRETATION? WHAT IS THE OMI METHOD?

鈴木？ 上田？ 吉川

OI（Look to this day!）からモード転換（ ） → 渡辺？

■ 姫川あゆみスピーチ 美内みすず作「ガラスの仮面」より 吉川沙希

■ The Rum, Tum, Tugger! 渡辺 吉川

The Song of Jellicles 渡辺 吉川

From T.S. Eliot's *The Old Possum's Book of Practical*

■ “Boots” by Kipling 宮田 上田 吉川 宮崎

■ Dorm Eulogy (?)

■ 将棋・升田幸三名人一代の立ち回り (?)

■ ゆきおんな 小泉八雲作「怪談」より 宮崎

■ “Mother’s Lullaby” ■ 亡き友よ 宮崎

Written and Adapted by Omi for Readers Theatre

上田、渡辺、吉川

Old Tree の視点ソロとして 宮田 (前半)

Old Tree の視点ソロとして (後半) 渡辺

劇作家の視点ソロ 吉川 (からみ近江)

近江アカデミー:

渡辺敬子、吉川沙希、宮崎菜摘、宮田浩、

鈴木基伸、斎藤理紗、佐々木千佳 (協力) 上田泰寛